

**【担当教員】**

綿引 宣道・平山 征夫・田原 伊和男・村上 義昭・佐藤 英児

**【教員室または連絡先】**

経営情報系406  
nwatahiki@kjs.nagaokaut.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

本授業は、自然環境、人類の文化的・経済的活動など、技術科学をとりまく諸事情を理解し、広い視野を持って人類の幸福と持続的繁栄に技術科学を応用する意義を正しく認識した技術者になることを目的とするものであり、特に本授業では経営学の視点から、企業の実践的側面を理解することを達成目標とするものである。

1) 事業計画の書き方、2) 借入金のおこし方、3) 人脈の作り方、4) 説明能力を身につける。

**【授業キーワード】**

企業、経営資源、企業文化、顧客、企業の社会的責任

**【授業内容及び授業方法】**

本授業は、多くの実務家を講師として迎え、様々なケースを取りあげながら、企業の経営的な実践的側面について学んでいくものであるが、具体的に、企業内部で生じる、ヒト、モノ、カネ、情報、さらに第5の経営資源についての問題、また、企業外部で生じる経営的問題に対して、実践的にはどのように対応しているのか、講義や演習を通じて学んでいく。

**【授業項目】**

- 1 ガイダンス 綿引宣道
- 2 企業と地域 平山特任教授
- 3 企業と地域 平山特任教授
- 4 企業と社会—その役割と責任 平山特任教授 宿題グループ分けで仮想会社を作る
- 5 企業と技術カシオ計算機
- 6 企業と技術
- 7 マーケティングの管理 講義カシオ計算機
- 8 マーケティングの管理 講義
- 9 事業計画を書いてみよう講義 国民金融公庫本社研究員 資金計画、経営計画
- 10 事業計画を書いてみよう講義 国民金融公庫本社研究員 事業撤退
- 11 IRの練習 講義 JASDAQ上場 株式会社プロデュース 長岡市
- 12 ミニテスト
- 13 事業計画の作成 学生の発表
- 14 事業計画の作成 学生の発表 擬似株主総会
- 15 事業計画の作成 学生の発表 (国民金融公庫の長岡支店長 岸本氏)

**【教科書】**

指定しない。

**【参考書】**

起業に失敗しないための起業家読本—ビジネスプランから会社設立・運営まで (単行本)  
横浜創業支援研究会 (編集), 横浜産業振興公社  
価格: ¥ 1,995 (税込) 単行本: 221ページ  
出版社: 同友館; 新訂版版 (2006/08) ASIN: 4496041847

**【成績の評価方法と評価項目】**

ミニテストと事業計画の発表内容で評価する。

**【留意事項】**

推奨事項

各自で名刺を作っておくこと

自分が就きたい業種、市場について調べておくこと。(株価四季報などが参考になる)

**【担当教員】**

渡辺 研司

**【教員室または連絡先】**

物質・材料 経営情報棟303号室、内線9351、e-mail:watanabe@kjs.nagaokaut.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

現代社会・経済への情報技術の活用が加速されつつある中、ITスキルはもはや社会活動を行う上で必要不可欠な基盤スキルである。本授業では企業活動におけるIT活用に焦点を当て、その現状や最新動向を理解したうえで、必要なスキルの開発を主に演習を通じて習得する。

**【授業キーワード】**

エンドユーザー・コンピューティング、ビジネス・ドキュメンテーション、ビジネス・シミュレーション、プレゼンテーション、意思決定

**【授業内容及び授業方法】**

前半は企業活動におけるIT導入状況と今後の方向性、またその背景について解説を行い、後半については実際の事例をもとに、ビジネス実務を想定したドキュメンテーション、シミュレーション、プレゼンテーションにかかわる演習を実施する。

**【授業項目】**

1. イントロダクション
2. 企業活動におけるIT
3. エンドユーザー・コンピューティングとワーク・スタイルの変遷
4. ビジネス・ドキュメンテーション演習
5. ビジネス・シミュレーション演習
6. ビジネス・プレゼンテーション演習
7. 総括

**【教科書】**

特になし

**【参考書】**

特になし

**【成績の評価方法と評価項目】**

前半については確認テスト(25%)、3領域の演習についてはそれぞれ25%ずつの配分で評価を行う。

**【留意事項】**

後半の演習についてはグループ単位で実施します。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://kjs.nagaokaut.ac.jp/watanabe/>  
講義用ホームページ

**【担当教員】**

塩野谷 明

**【教員室または連絡先】**

三宅仁(体育・保健センター107室内線9822、E-mail:miyake@melabo.nagaokaut.ac.jp)

斎藤秀俊(物質・材料 経営情報棟1号棟426室内線9316または3217)

木村悟隆(生物1号棟554室内線9413)

上村靖司(機械建設1号棟407室内線9717)

塩野谷明(体育・保健センター108室内線9823、E-mail:shionoya@vos.nagaokaut.ac.jp)

**【授業目的及び達成目標】**

近年、特に阪神・淡路大震災以来、急迫的緊急避難状況下におけるボランティア活動の必要性・重要性が取り上げられている。しかし実際には、ボランティア活動の必要性は急迫的な状況だけに留まらない。また急迫的な状況であればあるほど、ボランティア活動に求められる知識・能力は専門かつ広汎に及ぶ。本授業では、ボランティア活動及び関連する事項全般について事例、具体例に基づき、総合的総括的に学ぶとともに、活動に必要な知識、専門性そして資格取得のためのそれらについて学び、学習者がそれら資格を取得または習得する機会・足がかりをつかむことを目標とする。

**【授業キーワード】**

ボランティア、医療・福祉、震災、組織運営、資格、NPO

**【授業内容及び授業方法】**

授業項目に挙げる内容について、オムニバス形式で行う。授業方法は、各担当教員より別途指示するものとする。

**【授業項目】**

1. ボランティア活動概論
2. 震災時に必要なボランティア
3. 災害に学ぶ(新潟中越大震災、7.31水害、大雪等)
4. 医療・福祉におけるボランティア
5. 組織運営とボランティア
6. ボランティアと資格
7. ボランティアとNPO
8. その他

\* 授業項目の頭の数字は、授業回数を示すものではない

**【教科書】**

各教員毎別途指示する

**【参考書】**

各教員毎別途指示する

**【成績の評価方法と評価項目】**

各教員毎にレポート等で評価し、その平均で最終成績とする。詳細は授業開始時に指示等を行う。

**ボランティア実践活動**  
**Practical Volunteer Activity**

**実習 2単位 1,2学期**

**【担当教員】**

経営情報システム工学課程主任

**【教員室または連絡先】**

浅井達雄(総合研究棟505室、E-mail:asai@kjs.nagaokaut.ac.jp)

塩野谷明(体育・保健センター108室内線9823、E-mail:shionoya@vos.nagaokaut.ac.jp)

**【授業目的及び達成目標】**

ボランティア活動に関する知識・技能を学び、将来のボランティア活動に役立つ能力を身につけるとともに、学生及び社会人として求められる自主性、積極性、組織性、奉仕の精神、問題発見・解決能力などの資質を養うことを目的とする。

**【授業内容及び授業方法】**

公共団体及びボランティア団体等、責任の所在が明確な団体の主催する活動に参加する。

**【授業項目】**

学生自身が探し、実際の活動にあたっては、事前に「ボランティア活動計画書」を各課程主任等の承認を得て、経営情報システム工学課程主任に提出し、その承認を受ける。

**【教科書】**

なし

**【参考書】**

活動内容による。

**【成績の評価方法と評価項目】**

ボランティア実践活動時間を証明するボランティア団体等の責任者の証明書、ボランティア活動レポートにより判断する。

**【留意事項】**

学期始め履修申告期間に開催されるガイダンスの受講を原則とする。また、事前に「教養科目履修案内」をよく読むこと。